



リュウキュウアサリ（二枚貝類マルスダレガイ科） *Tapes literatus*

大きさ：殻長 6cm ほど。

英名：Venus clams

マルスダレガイの仲間の二枚貝は、卵また丸い形の殻をもち、サンゴ礁やアマモ場の砂礫底から干潟や内湾の泥礫～泥底まで幅広い環境に生息する。このリュウキュウアサリは、アマモ場やモートとよばれる礫砂底の低潮線～2m くらいの場所に生息する。

殻のすき間から水管をのばし、そこからプランクトンなどの浮遊物を呼吸とともに吸い込んで食べる。

マルスダレガイの仲間は、沖縄では 60 種類ほどが知られ、多くは浅海性である。

リュウキュウアサリやスダレハマグリなど食用種が非常に多く、沖縄ではシャコガイと並ぶ重要な二枚貝である。泡瀬地区の周辺干潟でも多く生息する。